

鼻噴霧式インフルエンザワクチン (フルミスト) について

<フルミスト導入にあたって>

毎年、お母さん方から、子どものインフルエンザワクチンをやってほしいというご要望が多くありました。しかし、注射によるワクチンの予防効果は、20%~30%と決して十分とは言えません。フルミストは鼻に「ふきつける」ワクチンで、2003年にアメリカ食品医薬品衛生局 (FDA)に認可されました。現在アメリカやヨーロッパで広く利用されているワクチンで、特に小児の予防効果が80%~90%と高いのが特徴です。このワクチンは鼻の一番奥にふきつけることが大切です。場合によっては吸引で鼻を通してからする必要がります。

下記に、フルミストと注射のワクチンの違いをまとめました。ご希望の方は予約して下さい。

また、ご質問のある方は、医師、看護師に聞いて下さい。

1) フルミストと注射の違い

	フルミスト	注射のワクチン
接種方法	両方の鼻の中へ吹き付けます	注射です
対象年齢	2歳から49歳	6か月以上
予防効果 (A型の場合)	5歳未満89% 7歳までは83% 12歳までは注射より予防効果が高いです。	小児は20%~30%程度 年齢が上がるにつれて予防効果が高くなります。
有効期間	約1年	3、4ヶ月くらい
副反応	噴霧後1週間以内に風邪症状 特に、鼻水、鼻づまり、のどの痛み	注射部分の腫れ、かゆみ、風邪症状
接種回数	1回 但し、2歳から8歳までで、今までにフルミストを一度も受けたことがない場合は、注射のワクチンを接種後4週間後に噴霧します。	12歳まで2回 13歳以上は1回
ワクチンタイプ	生ワクチン 鼻やのどからのウイルスの侵入を阻止する働きと、体に入ってきたウイルスを迎え撃つ働きの両方が得られます、 生ワクチンは生きたウイルスの毒性を弱めたものを接種することで、その病気にかかった場合と同じように免疫をつけようとするものです	不活化ワクチン 鼻やのどからのウイルスの侵入を阻止することはできませんが、体に入ってきたウイルスを迎え撃つ働きは得られます。 不活化ワクチンはウイルスの毒性をなくし、免疫をつけるのに必要な成分を取り出したものです

* 注射のワクチンに関する予防効果は研究によって様々です。

効果が全くないというものから60%くらいというものまであり、我々も判断に迷っています。

小児科学会では小児の予防効果は20~30%としています。

* フルミストに関しては、アメリカのデータしかありませんが、成人の場合は、ワクチンの予測の方が一致した場合には、注射のワクチンの方が予防効果が高いです。しかし、予測の方が外れた場合には、フルミストの方が予防効果が高いです。

フルミストのデータは、英文ですが、「Me d Immune」のHPから見ることができます。

2) どんな人にお勧めか？

2歳～49歳の方で以下の条件を満たさない方、また8歳以下のお子さんは当院では注射のワクチンと併用して接種してもらいます。(注射のワクチン接種後4週間以上経過してからの接種になります。)

3) 接種出来ない方

2歳未満、50歳以上の方。

5歳未満で、喘息の診断を受けている方。1年以内に喘息の発作を起こした方。(喘息の診断は受けておらず、風邪でゼーゼーが出る子は、先生と相談して下さい。)

重度の卵アレルギーのある方。ゼラチンアレルギーのある方。ゲンタマイシンのアレルギーのある方。

妊婦(授乳中の方は問題ありませんが、生後間もない子どものお世話をしている方は接種できません)

免疫治療を受けている方。アスピリン治療を受けている方。

過去に、注射のインフルエンザワクチンで気分が悪くなった方。インフルエンザに感染してけいれんや脳炎症状のあった方。

心臓や肺の病気、肝臓や腎臓の病気、糖尿病、貧血など慢性的な病気を持っている方。

抗がん剤治療など免疫治療をしている方を看病している方。

耳鼻科の診察で号泣する子ども(ワクチンが流れ出てしまうため)。少々は平気です。

4) ワクチンの補償について(非常に重要な告知です)

このワクチンは日本では**未認可**ですので国の補償は受けられません。何か起きた場合、輸入業者である

「MONZEN」の補償制度を利用しますが、裁判が必要になります。**重大な副作用が起こった場合でも、何の補償も受けられないと考えて下さい。**

インフルエンザの予防接種は、ご本人の意思に基づいて受けるものです。

十分納得できない場合には接種を受けないで下さい。

5) 予約について

①フルミストを希望される方は、ワクチンを確保するので**必ず事前に予約をして下さい。**

②当日に熱(37度以上)があったり、体調がすぐれない場合には、日を改めましょう。

③当日は、時間に余裕を持っていらして下さい。初めてのの方は噴霧後、15分は必ず院内にいて下さい。その後15分は何かあったらすぐクリニックに戻れる場所にいて下さい。2回目以降の方も噴霧後30分は何かあったらクリニックに戻れる場所にいて下さい。

※注射のインフルエンザワクチンと併用される場合は、4週間を経過したらフルミスト噴霧が出来ます。他のワクチンとの併用は問題ないとされています。当院では、フルミストと他のワクチンの同時接種はしません。

6) 料金と接種時期について

輸入品の為、料金は毎年変わります。分かり次第、院内掲示とネットでお知らせします。

フルミスト噴霧の前は、全員診察を受けて頂きますが、**鼻水があったり鼻づまりがあった場合には、鼻の奥にワクチンを付着させる為に、鼻の処置をしてから噴霧します。この鼻の処置は医療保険を使った診察となるので、場合によっては診察代が別途発生します。吸引により鼻出血が起こった場合も接種は中止としますのでその点もご了承ください。**